

Dear our partners.
ともに
 Dear our friends.

【校訓】
 やさしく
 かしこく
 すこやかに

平成27年10月23日
第23号

天草市立久玉小学校
 学校通信
 編集代表
 校長 **本田勝則**



道徳教育実践研修会



10月22日(木)は、「道徳教育実践研修会」でした。これは道徳の授業のあり方を学ぶ研修会です。熊本県天草教育事務所、天草市教育委員会、そして天草郡市のすべての小学校から37名の先生方、合わせて、約50名が、久玉小学校に来られて、道徳の授業を観られる等の研修を行いました。

参観授業は、4年生で、三宅先生と三輪先生による「1・2・3チーム・ティーチング」の授業でした。

家庭貸出もしているのですが、なさんご存知かと思いますが、熊本の心から「清和文楽」という題材を使った授業です。仕事が忙しいのに、せっせと清和文楽の活動に出かけてい



く祖母の姿を通じて、地域の伝統や文化を守り大切にしてい

く心を学ぶ授業でした。特にこの授業には、新しい工夫(提案)が、3つありました。①「1」を道徳の授業に取り入れたこと、②ゲストティーチャーのお話をインタビュー形式にしたこと、そして三宅先生が③実際に清和文楽に行つてレポートをしたこと、です。

①「1」を道徳の授業に取り入れたこと。
 日頃から2人の先生と一緒に勉強していることで違和感もないのですが、他の学校では新鮮なことだったようです。二人のかけ合いが絶妙だったという感想もありました。

②ゲストティーチャーのお話をインタビュー形式にしたこと。



③実際に清和文楽に行つてレポートしてきたこと。
 やはり子どもたちの目の輝きや違いが、遠い出来事じゃなく、三宅先生と一緒に写っている写真があったので、子どもたちは清和文楽を身近に感じました。

「教頭先生、緊張します。発表できないと思います。」なんて、朝、私に言っていた4年生の子どもたちが、授業が始まると別人でした。「先生私を当ててください」と言わんばかりに、挙げた手がやや斜めに先生の方向を向いている子どもたちの目はキラキラと輝いていました。先生と子どもとの関係が、とんとん子どもは伸びるんだ、とつくづく思いました。

三宅先生、三輪先生だけじゃ



大団円

～校長室より～



「あなたが大切だ」
 ～久玉っ子へのメッセージを～

数年前の講演会で紹介された事例です。

「バイキン」扱ひされて不登校になった児童が、久しぶりに登校できた日の朝の会。児童の名前を呼ぶ担任は、涙を流しながら、「このクラスの一人一人の子も大事である」ことを伝えます。男性担任が人目とはばからずボロボロ泣きながら話を聞かされた子どもたちは、自分たちのこれまでの行いの罪深さを感じ取り、これ以後は児童への心ない言葉もなくなり、不登校は解消されたそうです。

このことは、家庭においても同様です。

ある調査によれば、「自分の親が過保護だと感じていて子どもとの割合は低く、親が自分に無関心であると感じている子どもの割合は高い」という結果が出ています。これは、親が我が子の内面を正しくとらえていないことを意味し、子どもが押しもたれたいツボ(自尊心)がズレていると判断されるそうです。自尊心の低さは自己差別感情につながり、「ど

うせ頑張っても…」などと、子どもは心のシャッターを下ろしてしまつた状態にあります。

今、子どもが求めているものは、「あなたが大切だ」と言われることです。それも、多くの人から同じように言われることが必ずしも一人一人の自尊心を高めます。家庭内でもお子様との対話が弾んでいきますか。久玉っ子一人一人の話をじっくりと耳を傾け、うなずきながら聞いたり、「すごいね。」「さすがだね。」などと共感しながら聞いてあげてください。

今日は本田校長先生が教員になって13353日目
 そして、平成28年3月31日は13513日目

だれの言葉でしょう？

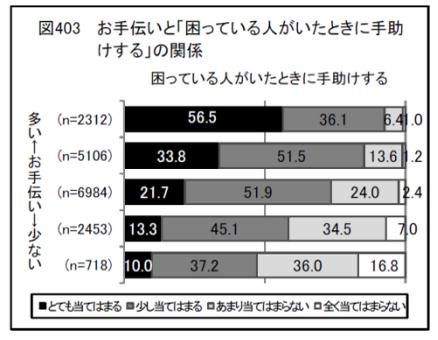
この次の青空はいつなかわからないだから今、空見上げ何かを始めるんだ今日できることをこの次の青空は自分から気づくだろう涙が溢れても太陽はにじまないさ(ちゃんと見れば)きみはもつと強くなれるよ今を生きてるんだ(時は流れても)ボクは流されない

先日音楽番組で歌っているのを見て、いい歌詞だなあと感じて紹介しようと思つていたのに、ノール賞受賞の大村さんの言葉に差し替えてしまい、改めて今回の登場となりました。

いい歌詞です。ヒットする歌って、どこかにメッセージが含まれていますね。

ホームページならカラーで見ることができます！
 URLは、 <http://es.higo.ed.jp/kutamaes/>

なるほど・ザ・家庭教育



お手伝いをする子は、「困った子を助ける」と答える割合が高くなります。お手伝いをさせましょう！

家のことも助かるし、子どもも成長します。道徳の学習で、「この」の勉強を「この」の勉強は、実際に体験することで本物の力になります。ぜひ、やりがいのあるお手伝いをさせてください。